

I. 民数記19章は、旧約におけるとても特別な章であり、汚れを除く水に関する記録です。

II. この章の汚れは、罪を指しているのではなく、死を指しています: 民19:13 死人に…触れ、そして自分をきよめない者はだれでも、エホバの幕屋を汚す。…汚れを除く水が彼に振りかけられなかったので、彼は汚れている。…

A. 死は罪から出て来ており、罪は死の根源です:

1. 死は神の目に罪よりも汚すものです。
2. 神の目に最も憎むべきものは死です。死は醜い、忌むべきものであって、私たちは死を忌み嫌うべきです。

3. 私たちが避ける必要のある死は、霊的な死です:

a. 霊的な死は地上において、肉体の死よりも蔓延しています。ローマ5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。b. 霊的な死は至る所にあります。罪深いこの世界的な場所だけではなく、最も道徳的で倫理的な場所さえ、霊的な死に満ちています。

B. 民数記11章から14章と16章における反逆の罪から、死はイスラエルの子たちの間で蔓延してしまいました:

1. 民数記16章のイスラエルの子たちの反逆の後、神の裁きの結果として、イスラエル人はみな死の影響の下にありました。2. 死の汚れは至る所に広まっていて、人々は汚れの状況の中にありました。

3. 神は第19章において、赤い雌牛の灰と共に汚れを取り除く水を用意するように彼らに告げました。それは、彼らがその水を用いて、自分たちが影響を受けた死の汚れを取り除くためでした。 **月**

III. 赤い雌牛は、汚れを除く水の主要な構成要素であり、贖うキリストを表徴します:

A. 赤色は罪の肉の様を表徴し、それは外側で人の罪を担うためです。ローマ8:3 神は、ご自身の御子を罪の肉の形で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました。

B. 赤い雌牛には欠陥がありませんでした。このことは、キリストが罪の肉の様にあって、罪深い性質がなかったことを表徴します。

C. 雌牛に傷がなかったことは、キリストが完全であったことを示します。民19:2 …イスラエルの子たちに告げて、欠陥がなく、傷がなく、くびきを負ったことがない赤い雌牛を、あなたの所に引いて来させなさい。

D. 雌牛がくびきを負ったことがないことは、キリストがだれによっても決して用いられなかったこと、特に神の敵サタンによって、あるいは彼のために、用いられなかったことを表徴します。

E. 赤い雌牛は営所の外に引き出されて、ほふられました。キリストは営所の外で、すなわちエルサレムの都の外の小さな山カルバリで、十字架につけられました。 **火**

IV. ほふられた赤い雌牛は焼かれて、祭司は「香柏の木とヒソプと緋色の撚り糸を取って、雌牛の燃えている中に投げ入れ」ました:

民19:6 祭司は香柏の木とヒソプと緋色の撚り糸を取って、

雌牛の燃えている中に投げ入れなければならない。

A. 香柏の木は、主の尊い引き上げられた人性を表徴しており、それは彼を私たちの救い主となることができるようにします: **1.** 聖書において香柏は、高く強い木であって、栄光に満ちている人性を指しています。

2. 予表において香柏は、復活し、昇天し、栄光が現され、誉れを得たイエスの人性を示しています。

3. 香柏の木は、キリストの天的な人性、彼の栄光が現された人性、彼の天的な人性の命を表徴しています。

4. 香柏の木が他のすべての木をはるかに高く超越しているように、キリストはすべての人の間で栄光が現された唯一の人です。

5. 香柏によって表徴されているように、キリストは昇天して天へと入った人であり、彼の卓越性と彼の引き上げられた高貴な人性は、他のすべての人を超越しています。

B. ヒソプは、最も小さい植物の一つであり、それが表徴するのは、主が進んで低くなり、人の姿になり、それによって彼が人に近くなり、人の救い主となることができたということです。ピリピ2:7 かえってご自身をむなしくし、奴隷の形を取り、人の姿になられて。

C. 一方で、主は香柏の木によって予表されているように、最高水準の人性を持っています。もう一方で、彼は進んで低くなりました。それは彼がヒソプによって予表されているように、私たちにとって便利な方となるためです。

D. 緋色は暗い赤色であって、予表において多くのものを暗示しています: **1.** 緋色は血が流されたことを表徴しており、十字架の贖う働きを指しています。

2. レビ記第14章4節における緋色は、主がご自身を低くして、人と成られたことを表徴しています。それは彼が神のみこころを行なって、私たちの贖いのためにご自身の血を流すためでした。

3. 緋色は、キリストが私たちの贖いのために流した血の最高の意義を表徴します。

E. 高くて威厳のあるキリストと、低くてへりくだったキリストは、彼の贖いにおいて、汚れを除く水の構成要素でした。 **水**

V. 雌牛の灰は、集められて営所の外の清い所に置かれ、イスラエルの子たちの集団のために、汚れを除く水として保存しておかれました: 民19:9 そして、清い人がその雌牛の灰を集めて営所の外の清い所に置き、それをイスラエルの子たちの集団のため、汚れを除く水のために保存しておかなければならない。それは罪のためのささげ物である。

A. 灰は、キリストの死の結果を表徴します:

1. 聖書において、灰は最終的な形のもをを表徴します。

2. 減少させられて灰となることは、減少させられて無となることです。

3. 民数記第19章9節の灰は、減少させられて無となったキリストを表徴しています。マルコ9:12 …人の子は多くの苦しみを受け、無きものと見なされると書かれている…

B. 香柏、ヒソプ、緋色の撚り糸が雌牛と共に焼かれた後、その灰は集められて清い所に保存しておかれました。これが、赤い雌牛を独特のものとする事です。

C. キリストの贖いの永遠の効力は、ほふられて焼かれた赤い雌牛の灰という予表において見る事ができます。ヘブル9:12 …ご自身の血を通して、一度で永遠に至

聖所へと入り、永遠の贖いを獲得されたのです。

D. これらの灰は汚れを除く水のために保存されました。それは罪をきよめること、あるいは罪のためのささげ物でした:

1. もしイスラエル人が汚れているものに触れて神の御前に汚れてしまったなら、清い人は汚れを除く水を灰と混ぜ合わせて、汚れた人の上に振りかけることができました。この事は、その人の汚れを取り除きました。**2.** 灰は汚れを取り除くために用いられました。それらは将来のために準備され、後ほど汚れが現れ出した時に用いられました。

E. 主イエスの働きのうちの一つの面は、赤い雌牛の灰と同様です:

1. 赤い雌牛の灰は、主の贖いの永遠で不変の効力を表徴しています:**a.** 赤い雌牛の灰は、主が私たちのために完成した主の贖いを表徴しています。**ローマ3:24** 無代価で、彼の恵みにより、キリスト・イエスにある贖いを通して、義とされるからです。**エペソ1:7** その愛する者の中で、私たちは彼の血を通しての贖い、すなわち違犯の赦しを受けています。これは、神の恵みの豊富によります。

b. 彼の贖いは永遠に不変で不朽です。

2. イスラエル人が汚れているものに触れたときはいつでも、その人は赤い雌牛の灰を、汚れを除く水と混ぜ合わせてもらい、それを自分の体の上に振りかけてもらう必要があるだけでした。

3. 主の贖いはあらゆることを完成しました。彼は私たちの将来のすべての汚れと罪のために備えをなしました:

a. 灰は特に将来のためです。**b.** 赤い雌牛の灰が私たちに告げているのは、十字架の過去の働きは、私たちが今日、適用することができるということです。**c.** 赤い雌牛は一度限り、焼かれました。その灰は私たちの全生涯にわたって用いるのに十分です。**d.** 私たちは、主の贖いが私たちの全生涯にわたって十分であることのゆえに、主に感謝します。 **木**

VI. 民数記19:17は、赤い雌牛が焼かれることと、器の中のその灰に加えられた流れ水について語っています:

A. 民数記第19章17節の流れ(文字どおりには、生ける)水は、キリストの復活における聖霊を表徴しています。

ヨハネ7:38-39 「私の中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。イエスはこれを、…その霊について言われたのである。…

B. 汚れを除く水には、キリストの贖いの効力と、キリストの復活の霊の洗う力があります。

VII. 死がイスラエルの子たちの間で蔓延していたので、汚れを除く水の必要がありました。私たちは死によって汚れるときはいつでも、キリストを、汚れを除く水のための赤い雌牛の実際として必要とします:

A. 民数記19章の汚れを除く水は、16章の大きな反逆から来た死の影響を清め去って、無効としました。

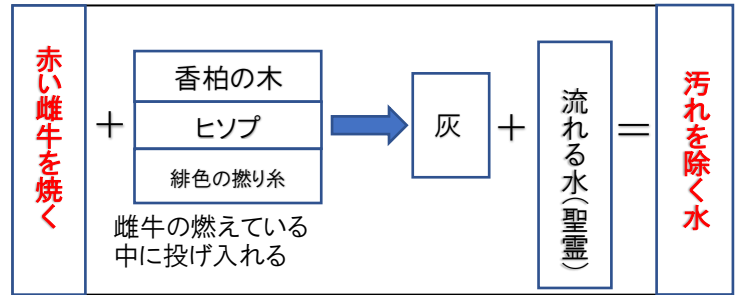
B. 灰が加えられた汚れを除く水が予表しているのは、キリストの贖いの効力が命の生ける水によって私たちが継続的に清めて、私たちと神との交わりを回復するということです。

Iヨハネ1:7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちが清めます。

C. キリストの贖いの働きだけが、威厳のあるへりくだった彼

の人性を通して、また彼の死と彼の復活の霊をもって、死の汚れからその状況をいやして、清めることができました。 **金工**

用語説明: 汚れを除く水



赤い雌牛: (1) 赤色は罪の肉の様を表徴する。(2) 欠陥がない。(3) 傷がない。(4) くびきを負ったことのない。この世、サタン、罪によって決して用いられたことがない。

香柏の木: キリストの威厳ある人性を表徴する。

ヒソブ: キリストのへりくだった人性を表徴する。

緋色: 贖いの最高の意義を表徴する。

赤い雌牛の灰: 主の贖いの永遠で不変の効力を表徴する。

Crucial Point(1): うわさ話をする事や代理権威に反逆することから遠ざかり、霊的死に触れない

OL1: 神の目に最も憎むべきものは死です。死は醜い、忌むべきものであって、私たちは死を忌み嫌うべきです。私たちが避ける必要のある死は、霊的な死です。

OL2: 民数記 11~14章と 16章における反逆の罪から、死はイスラエルの子たちの間で蔓延してしまいました。

OL3: 神は 19章において、赤い雌牛の灰と共に汚れを取り除く水を用意するように彼らに告げました。それは、彼らとその水を用いて、自分たちが影響を受けた死の汚れを取り除くためでした。

民数記 19章で雌牛が他の項目と共に燃やされ、その灰は、汚れを除く水を作るのに用いられます。私たちはこの章全体を読むことによって、汚れ、不潔がおもに死の汚れを指しているのを理解することができます。この水は死の影響と汚れを避けるための備えです。

16章の反逆のすぐ後、死に至る所にありました。一日で14,700人が死に、彼らの死体は至る所に横たわっていました。営所の多くの天幕に、死体がありました。人は死体に触れることによって、人が死んだ時そこにいることによって、死体があった天幕に入ることによって、汚されました。二百万人のイスラエル人全体が死の影響の下にありました。彼らはみな汚れの状況の中にありました。こうして、汚れを除く水が死の影響と汚れを無効にする必要があったのです。

死は醜い、忌むべきものです。ですから、私たちは死を避ける必要があります。…私たちが避けるべき死は、おもに肉体的死ではなく、霊的な死です。…霊的な死は至る所にあります。罪深いこの世的な場所だけではなく、最も道徳的で倫理的な場所でさえ、霊的な死に満ちています。

適用: 青少年・大学生編

あなたは罪深い事柄や、世的な事柄に注意して離れる必要があるだけでなく、注意して霊的死に触れないようにしなければなりません。霊的な死は、罪よりも忌むべきものであり、うわさ話や秩序に対する反逆などから来ます。

あなたはクラスメイトや先生の悪いうわさ話から遠ざかり、それらに関与しないようにすべきです。うわさ話をする友人たちは、その話の輪に加わらないあなたのことを変に思うでしょうが、これらは死をまき散らすことですので、決して関与してはいけません。また神は世の人を愛しているのです、人を傷つけるうわさ話をするのではなく、福音の恵みの言葉を語るべきです。うわさ話をしていると、福

音をすることができなくなってしまう。

またあらゆる秩序は神によって定められました。神のアレンジされた秩序や環境を受け入れないことは、神に対する反逆です。ある状況は表面的には不道徳であるとはいえませんが、反逆を根本的な動機としています。悪魔サタンはエバに対して、「神は本当に言われたのですか？」…「あなたがたは必ずしも死ぬことはありません！それは、あなたがたがそれから食べる日に、あなたがたの目が開かれ、あなたがたが神のようになり、善と悪を知るようになることを、神は知っておられるからです(創 3:3~5)」と言って神の言葉を疑わせ、神に反感を持たせるように誘導しました。これらのサタンの言葉は、一見すると不道徳なものを含んでいないようにも見えます。しかしそれらは神に対する反逆に満ち、死に満ちているのです。このサタンの言葉を受け入れた結果、アダムとエバは墮落してしまいました。

例えばサタンは担任の先生の欠点などを指摘して、先生に従う必要がないのではないかとあなたに提案してきます。この時あなたは、あらゆる環境があなたの益のために神によって用意されていることを思い出してください。そして主の御名を呼び求め、主の恵みによって、先生に服することを学んでください。そうでないとあなたは死に触れてしまい、自分を神の裁きの下に置くので、決して神によって祝福されません。覚えてください、「神は罪よりも、死を忌み嫌われます」。

祈り:「おお主イエスよ、私に死を識別する霊的な識別力を与えて下さい。神は罪よりも死を忌み嫌われます。うわさ話をしたり秩序に対して反逆したりすると、霊的な死に触れてしまいます。おお主イエスよ、私の内側の反逆の罪を赦して下さい。主の恵みに頼り、私が反逆的な行動を起こすことがないように助けてください。アーメン！」

Crucial Point(2):赤い雌牛の灰は主の贖いの永遠の効力を表徴する。灰は聖霊と混ぜ合わされ、汚れた人を清めるために適用される

OL1:イスラエル人が汚れているものに触れたときはいつでも、その人は赤い雌牛の灰を、汚れを除く水と混ぜ合わせてもらい、それを自分の体の上に振りかけてもらう必要があるだけでした。

OL2:主の贖いはあらゆることを完成しました。彼は私たちの将来のすべての汚れと罪のために備えをなしました。

ヘブル 9:12 やぎや子牛の血を通してではなく、ご自身の血を通して、一度で永遠に至聖所へと入り、永遠の贖いを獲得されたのです。13 というのは、もしやぎと雄牛の血、また雌牛の灰が、汚れた者たちに振りかけられて、彼らを聖別し、人の肉をきよめるとしたら、14 まして、キリストが永遠の霊を通して、傷のないご自身を神にささげられたその血は、なおさら私たちの良心をきよめて、死んだわざから離れさせ、生ける神に仕えるようにさせないでしょうか？

12 節 FN「永遠の贖いを獲得された」:キリストは十字架上で贖いを達成されましたが、彼が贖いの血を通して天の至聖所へ入った時、すなわち、その贖いの血を神の御前へささげた時はじめて、永遠に効力のある贖いを獲得されました。

14 節 FN「キリストが永遠の霊を通して」:十字架上で、キリストは人の体をもって、ご自身をささげられました。その体は、時間の制限を受けるものでした。しかし彼は、永遠の霊を通してご自身をささげられました。この霊は、永遠から存在し、時間の制限を受けません。ですから、神の小羊としてのキリストは、神の目には、世の基が置かれた時からほふられていました。彼がご自身をささげ

られたことは一度限りで、彼の死を通して完成された贖いは永遠であり、永遠の効力を持っています。彼の贖いの範囲は、罪の範囲を完全に含みます。

主の働きのうちの一つの面は、赤い雌牛の灰と同様です。贖いの効力は灰によって表徴されます。全世界の人の罪がその中にあり、血もその中にあります。人は汚れたものとなり、あるいは汚れたものに触れるときはいつも、別の赤い雌牛を殺して神にささげる必要はありません。ただかつてささげられた赤い雌牛の灰を取って水と混ぜ合わせ、体の上に振りかける必要があるだけです。言い換えれば、主が二度目に何もする必要はないのです。彼の贖いはあらゆることを完成しました。彼は私たちの将来のすべての汚れと罪のために備えをなしました。

灰は何を表徴するのでしょうか？ 聖書において、灰は最終的な形のものを表徴します。牛でも羊でも、焼かれた後の最後の形は灰です。灰はとても安定しており、灰は朽ちることがありません。私たちは灰を朽ちさせ、消滅させることはできません。

赤い雌牛の灰は、主の贖いの永遠で不変の効力を表徴しています。主が私たちのために完成された贖いは、最も安定しています。山の岩が安定していると思っただけではありません。岩でさえ焼かれて灰になり得るのです。灰は岩よりも安定しています。赤い雌牛の灰は、主が私たちのために準備された主の贖いを表徴します。それは永遠に不変で不朽です。私たちはいつでもそれを適用することができます。

適用:新人編

永遠の霊を通して、キリストは十字架上で永遠の贖いを完成されたので、キリストは再び十字架に付けられる必要はありません。赤い雌牛の灰は、キリストの贖いの永遠で不変の効力を表徴します。この灰は、あなたが全生涯を通して用いるのに十分です。主に感謝します。もしあなたが汚れているものに触れて、神の御前に汚れてしまったなら、永遠の贖いを表徴する灰と聖霊を表徴する生ける流れる水を混ぜ合わせた汚れを除く水を、あなたに振りかけてもらうべきです。主の贖いの永遠の効力と複合された聖霊が、あなたに適用されるとあなたの汚れは取り除かれます。ハレルヤ！ 主を賛美します。

あなたが霊的死に触れ汚された時、悔い改めて主に立ち返り、自分の霊を用いて罪を告白してください。そうすれば命を与える霊は、複合の全てを含む霊であるので、「汚れを除く水」としての効果があり、あなたの汚れを除くことができます。

例えばあなたを顧みている兄弟姉妹に対抗意識を持ち、反逆して奉仕者を批判してしまいました。このような状態は単に罪を犯した状態とは異なります。あなたは反逆によって霊的死に触れ、汚されてしまいました。このような時あなたは次のように祈るべきです、「おお主イエスよ、私の反逆について言い訳を言うことから救ってください。私の奉仕者を批判することは、反逆の罪であり、この罪は、聖書では一般の罪とはっきりと区別されています。なぜなら反逆の罪は霊的死をもたらす、神は罪よりも死を忌み嫌われるからです。主よ、私をあわれんでください。永遠の贖いである灰と聖霊である流れる水は今、複合されています。複合された霊を私に振りかけ、私を死の汚れから清めてください。」

Crucial Point(3):清い人の助けの下で、汚れを除く水によって清められる

OL1:死がイスラエルの子たちの間で蔓延していたので、汚れを除く水の必要がありました。私たちは死によって

汚される時はいつでも、キリストを赤い雌牛の実際として必要とします。この赤い雌牛は、汚れを除く水のために用いられました。**OL2:**民数記 19 章の汚れを除く水は、16 章の大きな反逆から来た死の影響を清め去って、無効としました。**OL3:**灰が加えられた汚れを除く水が予表しているのは、キリストの贖いの効力が命の生ける水によって私たちを継続的に清めて、私たちと神との交わりを回復するという事です。民 19:19 また、清い人が汚れた者に、三日目と七日目に(汚れを除く水)振りかけなければならない。こうして七日目に、彼は清められなければならない。その人は自分の衣服を洗い、水に浴さなければならない。そうすれば彼は夕方に清くなる。

汚れは旧創造と関係があります。ですから、私たちはきよめられるために、復活の中にいなければなりません。もし私たちが旧創造の中にとどまっているなら、きよめられることはできません。三日目に汚れを除く水が振りかけられ、七日目に汚れた人が清くなりました。これは、私たちが復活の中で主の贖いの効力を適用した後、完成の時にしたがって清くなることを表徴します。

民数記 19:19 は、汚れた人がきよめられるとき、自分の衣服を洗い、水に浴す必要があったと言います。さらに、汚れを除く水を振りかけた人も、自分の衣服を洗わなければならないませんでした。水に浴することは自分自身を対処することを表徴し、自分の衣服を洗うことは人の行動全体を対処することを表徴します。私たちは汚されて罪を犯すときはいつも、聖霊の中でその霊に主の死の効力を私たちに適用していただき、神の御前で私たちの汚れを取り除いていただくべきです。私たちはまた、自分自身と私たちの行動全体を新たに対処すべきです。

19章が啓示しているのは、私たち、神の民が、絶えず聖霊にキリストの贖いの効力を私たちに適用していただき、私たちがきよめられるようにすべきであるということです。…私たちの中にあるものはみな、また私たちに触れるものはみな汚れています。私たちの内なる存在のあらゆる部分も汚れています。私たちは神に仕えるために、キリストの贖いの効力と複合されている聖霊が、私たちの上に振りかけられて、きよめられるようにしていただくことを絶えず学ぶべきです。

適用:在職青年・大学院生編

あなたが旧創造の中に生きている時、内側は汚れに満ちています。また外側の環境にも多くの汚れがあります。あなたは警戒していなければ、容易にこれらの汚れに触れ、あなたは霊的に死んでしまいます。

ひとたびあなたがうわさ話や反逆的な会話や行動に関与すると、あなたは霊的な死に触れ、汚されます。この時、あなたはへりだって、あなたを奉仕している清い兄弟姉妹に助けをいただくべきです。民数記によると清い人が汚れを取り除く水を汚れた人に振りかけるのです。死に触れることは神の前で忌むべき重大な罪を犯すことなので、あなたは清い人に開き、頼るべきです。彼らの助けの下で、あなたは自分の霊を活用して複合の霊にあずかり、「汚れを除く水」によって清められることができます。

あなたが反逆的になり汚れてしまった時、その汚れを指摘してくれる人の言葉を受け入れてください。人はその汚れに少し気付いていても、それを受け入れることが難しいのです。清める人の助言を受け入れることはあなたにとって容易なことではないと思いますが、汚れが清められるために必要なことですので、主の恵みをとって、あなたを清める人に開いてください。

祈り:「おお主イエスよ、上司を批判したりつぶやいたりすることによって、上司に反逆することから私を救って

ください。反逆に関わると私は霊的に死んでしまい、霊が弱くなり、主に触れられなくなってしまいます。私が不注意でこれらの罪によって汚されてしまった時、私を助ける清い人たちに開き、頼ることができますように。彼らの助けの下で悔い改めて、霊を活用し、汚れを除く水により清められますように！」

人生の奥義(2)***人の悲惨な状況:「争い」***

A.争い…は…邪悪な情緒と関係があります(ガラテヤ 5:20FN2)。

B.「論議と言い争い…そこから、ねたみ、争い、そしり、邪悪な疑心が生じ」(Iテモテ 6:4)。

C.「争いは…何の益にもならず、聞く者を荒廃に至らせるだけです」(IIテモテ 2:14)。

D.「戦いと争いは、どこから来るのですか？それらはほかでもなく、あなたがたの肢体の中で戦う欲望からではありませんか？」(ヤコブ 4:1)。

E.「彼ご自身は、私たちの平和であって、両者を一つにし、そして敵意である隔ての中垣を取り壊し、…また十字架を通して、両者を一つからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまったのです」(エペソ 2:14、16)。

人の悲惨な状況:「迷う(さ迷う)」

A.「金銭を愛することはあらゆる悪の根だからです。ある人は金銭を熱望したために、その信仰から迷い出てしまい、自分自身を多くの苦痛で刺し通しました」(Iテモテ 6:10)。

B.「欺き欺かれながら」(IIテモテ 3:13)。

C.「私たちはみな羊のようにさまよい、おのおの自分の道に向かって行った」(イザヤ書 53:6)。

D.「あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者また監督者に立ち返ったのです」—私たちの魂は、私たちの内なる存在、真のパーソンです。主は私たちの魂の牧者また監督者として、私たちの内なる存在の益を顧みることによって、また私たちの真のパーソンの状態を監督することによって、私たちを牧養されます(Iペテロ 2:25FN3)。

私たちの取るべき態度:「開く」

A.「見よ、私は戸口に立って、たたいている。だれでも私の声を聞いて戸を開くなら、私は彼の所に入って行き、彼と共に食事をし、彼は私と共に食事をするであろう」(啓 3:20)。

B.「主よ、私の唇を開いてください。そうすれば、私の口はあなたへの賛美を告げ広めます」(詩篇 51:15)。

C.「私の目を開いて、あなたの律法からの不思議を、見るようにしてください」(詩篇 119:18)。

D.「私はあなたの戒めの道を走ります。あなたが私の心を広げてくださるからです」(詩篇 119:32)。

E.「私はあなたに向かって両手を広げ、私の魂は乾ききった地のように、あなたに渴きます」(詩篇 143:6)。

F.「イエスは…指を彼の両耳に差し込み…『開け!』と言われた。すると直ちに彼の耳は開き」(マルコ 7:33-35)。

G.「そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです」—私たちが主の栄光をおおいのない顔をもって、見つめ、そして反映する時、彼はご自身の要素と彼が成し遂げたものの要素を、私たちに注入されます。こうして、私たちは彼の命の力によって、彼の命の本質をもって、新陳代謝的に造り変えられ、彼の命の形を持つようになります(IIコリント 3:17-18と18節のFN7)。